



学校だより



7月14日号

江東区立第四砂町小学校

令和 8年 7月 14日

校長 太田 智恵

ICT の活用について

校長 太田 智恵

本校では、タブレット端末などの ICT 機器を各教科において学年の発達段階に応じて、効果的な活用を進めているところです。

低学年では、生活科の植物観察などにおいて、主に「カメラ機能」が大活躍しています。自分の目で見たものを写真に撮って記録することで、植物の成長や細かな変化を後からじっくりと見返すことができます。

中学年になると、キーボードを使ったタイピング練習が入ってきます。ローマ字入力を学びながら、文字をすばやく打ち込む楽しさを味わっている人も増えてきました。

高学年では、タブレットの使い方もレベルアップしています。自分の考えをスライドにまとめて全校朝会で発表したり、授業でお互いの意見を画面上で共有したりして使う場面も見られるようになってきました。



【1年生生活科】

アサガオの観察でした。本当によく観察していて驚きました。

「ひげみたいのがついてるよ」「おおきいはつぱとちいさいはつぱがまざっている」など、花が咲くのを心待ちにしているようでした。アサガオの葉っぱの大きいところを写真にとっていました。

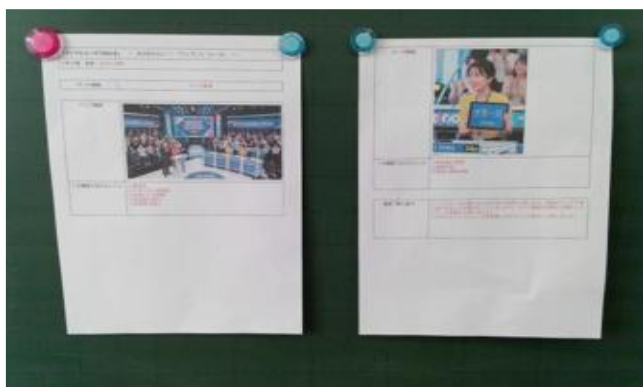
【2年生(左下)・3年生(右下)】

ノートを書き終わった後に、タブレットを開いて算数の問題に取り組んでいました。3年生はタイピングもはやくなっていました。



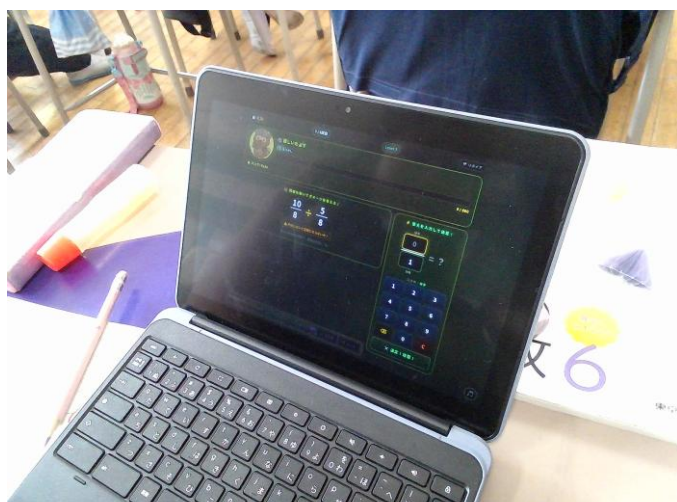
【4年生】

国語「アップとルーズ」の授業です。生成 AI を活用して自分たちで実際に新聞を作成しています。



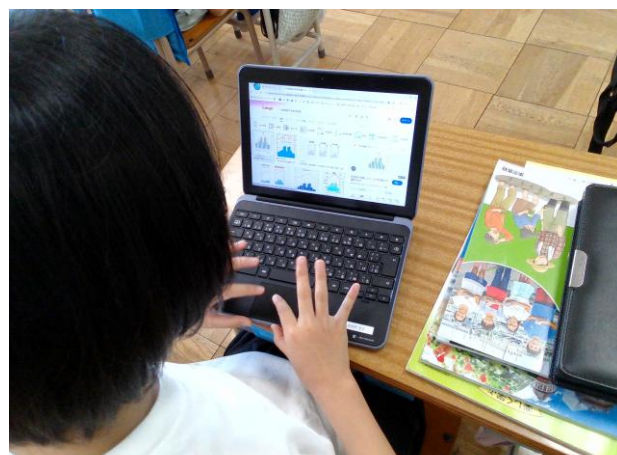
【6年生】

先生が作成した算数の問題は、正解すると四砂小のマスコットキャラクターが出てきます！



【5年生】

社会科では、自分で選んだ地域の気候について調べています。



「だがしや」の約束

これは、学習でタブレットを使うときの約束です。こどもからの意見も聞きながら ICT 担当の先生が中心となってまとめました。

こどもたちは、わかっていると思いますが、夏休みも「だがしや」は守って学習します。タブレットは、学習道具です。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

よんすなしょう 四砂小タブレット **だがしや** の約束 やくそく

だ・・・だいにじにつかう

そつぎょう 卒業するとき、次の1年生に渡します。ほうり投げたり、たたいたりしません。

が・・・がくしゅうでつかう

がくしゅう い がい 学習以外のことには、つかいません。

し・・・しじにしたがう

せんせい し し 先生から指示があったら従いましょう。

や・・・やくそくをまもる

よんすなしょう 四砂小タブレット使用ルールを守ります。

